

障がいのある方の雇用に取り組む

京都生活協同組合(京都市南区)



「京都はあとふる企業」です

◆主な事業内容：食料品や日用品等の販売（小売）

【障がいのある方が従事している仕事】
店舗での担当、本部での事務、物流での作業
担当等



【障がい者雇用の経過】

京都生協では1990年以降、障がい者雇用・実習や研修の受入れなど社会や地域に貢献できる様々な取り組みを行ってきました。健常者も障がい者も誰もが働きがいと生きがいを感じながらイキイキと働き続けられる職場づくりを目指しています。支援学校や支援機関からの紹介等で採用させて頂いています。

【とくに工夫していること】

- ・個々の障害の特性をまわりの職員が理解し、出来ることや得意なことを増やしていけるように応援しています。
- ・指示や注意する時は、判りやすい言葉で伝わっているかどうかを確認しながら進めています。

【今後の目標】

個性や特性の違いを認め合いながら障がい者も貴重な人材として活躍できる仕事や分野を広げていけるよう取り組みをすすめていきます。



【Aさんの声】

生協のお店で農産担当をしています。野菜や果物をカット、包装・袋詰めして店頭で並べています。周りの職員のみなさんに優しくしてもらい楽しく働いています。もらった給料で友だちと遊びに行ったり、大好きなジャニーズの雑誌を買うのが楽しみです。

【職場の同僚や上司の声】

- ・Aさんは農産の仕事が長く白菜やレタス等を速くてキレイにカット・包装されるなど活躍されています。同じ作業を長い時間続けられる粘り強さがありとても頑張り屋さんです。
- ・苦手なことは周りの職員がフォローしています。



京都生協キャラクター
きょうまる

令和元年12月作成